

「まなびの教室」(特別支援教室)とは？

誰にでも得意なところ、不得意なところがあるものです。得意でない面では、その内容や程度により、本人が苦しんだり、自信をなくしたりする場合があります。「まなびの教室」という場合は、学校という集団の中で自分の持っている“良さ”を発揮することができず、学校生活に意欲を持ってない生徒に、いろいろな面で支援をしていこう、というところです。個別指導や小集団指導を通してコミュニケーション能力を向上させたり、その生徒にあった「学び方」を学習します。

I 「まなびの教室」について

1 「まなびの教室」の教育目標

- ・情緒の安定を図り、学校生活や社会生活への適応力を高めます。
- ・自己理解を促し、適切な人間関係を築く力を育てます。
- ・生徒一人一人の実態に即した学習方法を身に付けて、学習への意欲や自信を持たせます。

2 教育目標を達成するための基本方針

- ・生徒一人一人の実態を的確に把握し、連携型個別指導計画及び学校生活支援シートを作成します。
- ・連携型個別指導計画、学校生活支援シートを活用して、生徒一人一人のニーズや課題に応じたきめ細かな指導を行い、生徒及び保護者との信頼関係を築きます。
- ・定期的に指導の成果や課題を振り返り、個別指導及び小集団指導の中で生徒一人一人に合わせた指導方法を検証し改善します。
- ・自立活動としてコミュニケーション活動、教育相談、体育的活動、創作活動、生活体験活動を行い、教科の学習を用いて学習に向かう態度や学習方法を身に付けさせます。
- ・保護者、特別支援教室専門員、在籍学級担任、関係諸機関等との連携を密に取ります。

3 指導の重点

- ・社会生活に必要なコミュニケーション能力を高めるために、自分の気持ちを適切な言葉で表現する力を身に付けさせます。
- ・見る力、聞く力を高めるために、ビジョントレーニングなどを取り入れた指導を行います。
- ・基礎的基本的な学習内容を身に付けさせるために、当該学年や修了学年の教科の学習内容を利用して、生徒一人一人のニーズに合った学習方法を身に付けさせます。

#### 4 その他の配慮事項

- ・ 1 単位時間 50 分、週 2 回、1 回 2 時間を原則として生徒一人一人のニーズや課題に合わせた授業設定を行います。
- ・ 定期的に、在籍学級担任や保護者と面談を行い、校内委員会に出席して各生徒の様子を把握します。
- ・ スクールカウンセラーや臨床発達心理士等と連携し、専門的な助言を得ます。

#### 5 おもな学習内容の例

##### ○個別指導の一例

- ・ 教科の学習教材を利用した学習方法の習得、音読。
- ・ パズル等を利用した空間認知能力の向上。
- ・ 視覚的な情報処理、ビジョントレーニング。
- ・ 進路学習(面接の受け方、作文)
- ・ 創作活動 等

##### 個別指導

生徒との関わりを通して、学習や対人関係の悩みを理解し支援していきます。個々の生徒に合った学習内容、方法で、基礎学力の定着や向上をめざします。

##### ○小集団指導の一例

- ・ ソーシャルスキルトレーニング
- ・ トランプ等のカードゲーム
- ・ モノポリー等のボードゲーム
- ・ 百人一首 等

##### 小集団指導

生徒同士で、コミュニケーション活動、体育的活動、創作活動を通して、望ましい社会性を培います。また、学習活動で課題を共有し、解決することで、学習意欲の向上を図ります。

## II 本校の「まなびの教室」

### 1 開設日時

毎週月・水曜日に開設します。

曜	1 校時	2 校時	3 校時	4 校時		5 校時	6 校時
月曜日		まなびの教室①②			給	まなびの教室③	
水曜日	まなびの教室④		まなびの教室⑤		食		

## 2 「まなびの教室」開設場所

校舎1階の相談室(カウンセリング室)と2階の社会科資料室に開設します。

## 3 本校は巡回校です。

拠点校は新宿区立落合第二中学校です。毎週月・水曜日に落合第二中学校から特別支援教室担当の先生方が見えられ「まなびの教室」での教育を担当します。

※ 「まなびの教室」の詳細は、落合第二中学校のホームページをご覧ください。

## 4 連絡先

拠点校 新宿区立落合第二中学校  
新宿区西落合1丁目6番5号  
赤土学級 ☎ 5982-5011 (直通)

巡回校 新宿区立落合中学校  
新宿区西落合2丁目24番6号  
☎ 03-3565-0701 FAX 03-3565-0728

## 相談申し込み、問い合わせ先

新宿区歌舞伎町1丁目5番1号 新宿区役所第一分庁舎4階  
新宿区教育委員会 学校運営課 学校運営支援係  
就学支援主査・就学相談員 ☎ 5273-3097